

JIS

バーコードシンボル－EAN/UPC－基本仕様

JIS X 0507 : 2004
(ISO/IEC 15420 : 2000)
(DSRI/JSA)
(2008 確認)

平成 16 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	金 谷 学	総務省
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	松下電送システム株式会社
	関 口 裕	社団法人電子情報技術産業協会
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	高 森 國 臣	総務省
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 論	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 川 秀 眞	財団法人日本情報処理開発協会
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	若 井 博 雄	財団法人日本規格協会
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20

官 報 公 示：平成 16.3.22

原 案 作 成 者：財団法人流通システム開発センター

(〒107-0052 東京都港区赤坂7丁目3-37 プラウス・カナダ TEL 03-5414-8500)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人流通システム開発センター(DSRI)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 15420 : 2000**, Information technology – Automatic identification and data capture techniques – Bar code symbology specification – EAN/UPC を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS X 0507 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (規定) 追加特性
- 附属書 B (規定) シンボル体系識別子
- 附属書 C (参考) UCC/EAN システムの概要
- 附属書 D (参考) 数字セット A, B, C 及び補助パターン
- 附属書 E (参考) 公称サイズシンボルの寸法図
- 附属書 F (参考) 従来の測定方法
- 附属書 G (参考) 読取り及び印刷の指針

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. 要件	2
4.1 シンボル体系の特性	2
4.2 シンボルの種類	3
4.3 シンボルの符号化	3
4.4 シンボルの構成	4
4.5 寸法及び許容範囲	11
4.6 参照復号アルゴリズム	13
4.7 シンボル品質	17
4.8 アプリケーション規定のパラメタ	18
4.9 目視可能文字情報	18
4.10 転送データ	18
4.11 導入指針	18
附属書 A (規定) 追加特性	19
附属書 B (規定) シンボル体系識別子	21
附属書 C (参考) UCC/EAN システムの概要	22
附属書 D (参考) 数字セット A, B, C 及び補助パターン	23
附属書 E (参考) 公称サイズシンボルの寸法図	24
附属書 F (参考) 従来 of 測定方法	29
附属書 G (参考) 読取り及び印刷の指針	32
解 説	34

バーコードシンボル—EAN/UPC—基本仕様

Bar code symbology—EAN/UPC—Basic specification

序文 この規格は、2000年に第1版として発行された ISO/IEC 15420:2000, Information technology—Automatic identification and data capture techniques—Bar code symbology specification—EAN/UPC を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、EAN/UPC シンボル体系のデータキャラクタの符号化、シンボル形式、寸法、試験仕様及び参照復号アルゴリズムを含む要件について規定する。

なお、データの内容及びこのシンボル体系の使用を管理する規則は、UCC/EAN システム仕様に規定されている（附属書 C 参照）。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO/IEC 15420:2000, Information technology—Automatic identification and data capture techniques—Bar code symbology specification—EAN/UPC(IDT)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年又は発行年を付記してあるものは、記載された年の版だけがこの規格の規定を構成し、その後の改正版・追補は適用されない。ただし、この規格に基づいて契約を結ぶ場合は、当事者間で引用規格の最新版を適用することが望ましい。発行年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS X 0520:2001 バーコードシンボル印刷品質の評価仕様—1次元シンボル

備考 ISO/IEC 15416:2000 Information technology—Automatic identification and data capture techniques—Bar code print quality test specification—Linear symbols からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS X 0530:2003 データキャリア識別子（シンボル体系識別子を含む）

備考 ISO/IEC 15424:2000 Information technology—Automatic identification and data capture techniques—Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers)が、この規格と一致している。

JIS X 9001:1976 光学式文字認識のための字形（英数字）

備考 ISO 1073-2:1976 Alphanumeric character sets for optical recognition—Part 2: Character set OCR-B—Shapes and dimensions of the printed image からの引用事項は、この規格の該当事項と